

## 記録の保持

「公的記録 Public record」という用語は、まさに字義通りを意味している。それは公にすべきものである。特定の職業は、いわゆる「特権」と呼ばれるものを持っており、そこでは彼らの記録は非公開である。MADD 擁護者の記録は、「特権」を持つものではない。

一方で、MADD 擁護者は被害者との相互作用の記録や内容の「機密」を保持するためにあらゆる努力をしなければならない。被害者のファイルは MADD の事務所に保管されるか、または、その支部に事務所がない場合、擁護者の家の鍵がかかったファイルキャビネットに保管されねばならない。(ファイルへの) アクセスは、擁護者だけに、必要な場合は支部のスタッフや役員に限られるよう注意を払うべきである。ただし被害者には、法廷がもし彼らのファイルの提出命令を発したら、MADD は法廷命令に従うほかないと言っておくべきである。

擁護者の記録が文書提出命令を受けた場合、擁護者はファイルの機密性により、または/あるいは、ファイルの内容がそのケースに無関連であるという理由で、「提出命令破棄」の裁判申請を提出するため弁護士を雇うことができる。申し立ての言葉には、提出命令が「不合理、過酷、また面倒である—軽率であり、擁護者を悩ますことを意図したものである」ということを含めても良い。あなたの弁護士が、使用に適切な言葉を知っているだろう。ただし、提出命令破棄の要求はしばしば認められないことに留意せよ。

不必要な事務処理を好む人はいない。しかし最小限のこととして、MADD にサービスを求めてコンタクトしてきたどの被害者の家族に対しても、ファイルは公開されるべきである。もし擁護者が在宅勤務をしているなら、簡単にアクセスできるカバーシート、コンタクトシート、およびファイルフォルダーの供給が為されるべきである。ケースファイルは次のような理由で重要である：

1. ケースは複数の擁護者によって担当される可能性があり、そのうちの誰かが以前の擁護者が行ったことを知る必要があるかもしれない。
2. 稀なことではあるが、擁護者は法廷において、被害者との関係を説明するよう要求される可能性がある。
3. 記録の保持により、自分の被害者支援プログラムのために助成金を申し込むためのバックグラウンド・データが得られる。

ファイルが最低限である場合には、以下の2つの書類を用いて下さい。ファイルには、全ての文書とケースに関連した新聞の切り抜きをも含んでいるべきである。

被害者カバーシート（ファイルごとに1つ）

談話およびコンタクトの記録（被害者とのコンタクトの度に記帳）

あなたのプログラムが VOCA から基金を受けている場合、これらのシートを、あなたの州が要求する全てのデータを含むものに修正する。被害者支援記録のためのソフトウェアに関する情報は、MADD 本部の被害者サービス部門に問い合わせること。

以下、4 頁にわたって、無記入のファイル（カバーシート一式と、コンタクトの記録用紙、計 4 枚）が紹介されている。これについては、巻末に原文のまま資料として添えることにする。